



ふくやま 市議会だより



No.57

11月臨時会 12月定例会

2016年(平成28年)2月1日

発行 / 福山市議会 編集 / ふくやま市議会だより編集委員会

〒720-8501 福山市東桜町3番5号

TEL.084-928-1136 FAX.084-920-1104

●今月の表紙●

学校対抗「ふくめく」
かるた大会
(まなびの館ローズコム)

新春のごあいさつ	2
11月臨時会の概要	2
12月定例会の概要	2
議案の審議結果	3～4
一般質問	5～9
委員会の活動	10
特別委員会の視察報告	12

新春の「あいさつ」



議長
小川 眞和

皆さまには、お健やかに新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

本年、福山市は市制施行100周年という記念すべき節目の年を迎えます。

本市では、先人たちが築いてきた歴史を礎とし、心の豊かさが実感できる地域社会の実現と備後圏域全体の発展に向けた施策の充実に取り組んでおります。

福山市議会におきましても、議会改革に取り組む中で、市民の皆さまのご意見を市政に反映するとともに、さらなる住民福祉の向上に努めてまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

11月臨時会

平成27年第5回臨時会（11月9日の会期1日間）の概要は次のとおりです。

平成26年度の企業会計（病院、水道、工業用水道、下水道の各事業会計）決算認定について、議案を審査した企業会計決算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、採決し、4議案を認定

総務課長が1件の市長専決処分について報告

「消防団員等公務災害補償条例の一部改正の市長専決処分の承認を求めることについて」を承認

市長が市政の状況と12議案（平成26年度の一般会計と11の特別会計の歳入歳出決算認定）の提案理由を説明

12議案は、一般・特別会計決算特別委員会を設置して付託（同委員会で11月9日から13日まで審査）

12月定例会



平成27年第6回定例会（12月1日～18日／会期18日間）の概要は次のとおりです。

1日 平成26年度の一般会計と11の特別会計の歳入歳出決算認定について、議案を審査した一般・特別会計決算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、採決し、12議案を認定

総務課長が2件の市長専決処分について報告

市長が市政の状況と36議案の提案理由を説明

7日～10日 議案や市政全般について17人の議員が一般質問

10日質問終了後 市長が2件の追加議案の提案理由を説明

一般会計などの補正予算案5件は、予算特別委員会を設置して付託、それ以外の33議案は所管の常任委員会に付託

11日 4常任委員会でそれぞれ議案を審査

14日・15日 予算特別委員会で議案を審査

18日 議案を審査した4常任委員会と予算特別委員会の委員長から審査結果の報告がありそれぞれの報告について採決し、38議案を原案どおり可決、継続分の請願4件は継続審査
公平委員会の委員の選任の同意についてなど2件の人事案件に同意

※1：9月定例会に提案されたもので、企業会計決算特別委員会（委員18人）を設置して付託し、9月30日から10月2日までの3日間で審査しました。

※2：9ページの「平成26年度一般会計・特別会計決算を審査」をご覧ください。



この定例会で決まったこと
(一部をお知らせします)

【市長提出議案】

■補正予算

○ 本庁舎、すこやかセンターなどの屋上防水改修など公共施設長寿命化のための工事や小中学校の便所の洋式化工事

○ 御幸町柳原自治会ほか6カ所の地域集会所の改築、改修費助成

■条例

○ 神辺支所を現在整備中の(仮称)神辺地域交流センターへ移



神辺市民交流センター完成予想図

転し、名称を神辺市民交流センターとし、センターに設置する諸室の使用料などを定めます。

(支所設置条例及び市民交流センター条例の一部改正)

○ ばら公園及び花園公園に有料駐車場を設置することに伴って開場時間、駐車料金の上限などを定めます。(都市公園条例の一部改正)

○ 空家等に関する対策を推進するため、空家等対策計画の作成協議会の設置、緊急安全措置などを定めます。(空家等対策条例の制定)

■その他

○ 指定管理者制度を導入している公の施設のうち、平成28年3月末で指定期間が満了する「商店街利便施設」など20施設と平成28年5月1日供用開始予定の「沼隈グラウンド・ゴルフ場」の計21施設の各指定管理者を、それぞれ指定します。

平成27年第6回定例会 議案の審議結果一覧

全員が賛成した案件	
付託委員会	議 案 名
決 算 特 別	平成26年度集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定
	平成26年度駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定
	平成26年度母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計歳入歳出決算認定
	平成26年度誠之奨学資金特別会計歳入歳出決算認定
	平成26年度財産区特別会計歳入歳出決算認定
予 算 特 別	平成27年度食肉センター特別会計補正予算
	平成27年度病院事業会計補正予算
	平成27年度下水道事業会計補正予算
総 務	支所設置条例及び市民交流センター条例の一部改正
	公の施設(中央斎場)の指定管理者の指定
	公の施設(西部斎場)の指定管理者の指定
	公の施設(神辺斎場)の指定管理者の指定
民 生 福 祉	婦人保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
文 教 経 済	青少年修学応援基金条例の制定
	神辺体育館条例の制定
	市立手城小学校南棟校舎他耐震改修工事請負契約締結の変更
	公の施設(商店街利便施設)の指定管理者の指定
	公の施設(内海ふれあいホール)の指定管理者の指定

次ページに続く

全員が賛成した案件											
付託委員会	議 案 名										
文 教 経 済	公の施設（国民宿舎仙酔島）の指定管理者の指定										
	公の施設（市立動物園）の指定管理者の指定										
	公の施設（平家谷椿園）の指定管理者の指定										
	公の施設（農水産物加工センター）の指定管理者の指定										
	公の施設（水産物加工センター）の指定管理者の指定										
	公の施設（内海多目的集会所）の指定管理者の指定										
	公の施設（アリストぬまくま等）の指定管理者の指定										
	公の施設（農山漁村公園）の指定管理者の指定										
	公の施設（食肉センター）の指定管理者の指定										
	公の施設（沼隈グラウンド・ゴルフ場）の指定管理者の指定										
建 設 水 道	空家等対策条例の制定										
	深津住宅3号棟（27・高耐）建設工事請負契約締結										
	深津住宅3号棟（27・高耐）建設電気設備工事請負契約締結										
	深津住宅3号棟（27・高耐）建設給排水衛生設備工事請負契約締結										
	公の施設（内海フィッシャリーナ等）の指定管理者の指定										
	市道路線の認定										
賛否が分かれた案件											
○は賛成、×は反対											
付託委員会	議 案 名	水曜会	公明党	誠勇会	日 本 共 産 党	市 民 連 合	新 政 クラブ	無 所 属	採 決	採 決	採 決
決 算 特 別	平成26年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	認 定
	平成26年度都市開発事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	認 定
	平成26年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	認 定
	平成26年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	認 定
	平成26年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	認 定
	平成26年度食肉センター特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	認 定
	平成26年度商業施設特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	認 定
予 算 特 別	平成27年度一般会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可 決
	平成27年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可 決
総 務	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可 決
	税条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可 決
	税条例及び国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可 決
	現業関係に従事する職員の給与に関する条例の全部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可 決
	過疎地域自立促進計画を定めること	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可 決
民 生 福 祉	市立保育所条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可 決
建 設 水 道	都市公園条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可 決
委員会付託省略	公平委員会の委員の選任の同意	○	○	○	×	○	○	○	○	○	同 意
	人権擁護委員の候補者を推薦するにつき意見を求めること	○	○	○	×	○	○	○	○	○	同 意

賛否は、本会議後に会派等に確認したものです。議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています。

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、17人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

会派名など	質問者数
水曜会	5人
公明党	4人
誠勇会	2人
日本共産党	2人
市民連合	2人
新政クラブ	1人
無所属	1人

*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。



早川 佳行
水曜会

国道182号迂回路の整備は

問 加茂町百谷地内で昨年7月、山際の土砂が崩壊し全面通行止めとなった。復旧工事の進捗状況と迂回路の整備の考えは。

答 復旧工事の進捗は、8月6日から片側交互通行が可能となり1月下旬に暫定2車線の供用を開始、3月中旬に全体工事が完了する予定。



迂回路の整備について、国道182号の全面通行止めの際に一部車道の迂回路として使用された市道北山9号線は、交通量が少なく急峻な地形のため全線の整備は困難だが、迂回路として使用されたことを受け待避所の設置などを検討している。



熊谷 寿人
水曜会

第五次福山市総合計画策定の進め方は

問 ①次期総合計画策定に、どのような視点で取り組むのか。
②国土形成計画との関連性は。
③市民アンケート調査の結果をどのように生かすのか。
④今後のスケジュールは。

答 ①人口減少社会であっても

誰もが心豊かに生き生きと暮らせるまちづくりの実現を視点に取り組む。

②総合計画は、国土形成計画の特色や連携中枢都市圏構想の目的を踏まえて策定する。

③アンケートは行政サービス等に対する満足度・重要度を把握するため実施したもので、総合計画に位置付ける施策の優先度を導くことができる。

④年度内に基本構想の素案を作成し、パブリックコメントを実施予定。新年度から基本計画の検討を行う。



高田 健司
水曜会

「福山とんど」への思いと継承の意義は

問 「福山とんど」への思いと地域行事としての継承は。

答 「とんど」は本市を代表する伝統行事であり、こうした郷土の伝統文化を継承し、守り育てることは大変意義深いものである。昨年9月に自治会・町内会を通

じて、地域行事として市内で行われている「とんど」の状況調査を実施したところ、80学区・地区のうち65学区・地区で実施されており、単位自治会・町内会で実施されているものを含め、170を超える「とんど」の展示や火入れ行事が行われていた。

今後とも各地域それぞれの特色を生かしながら、市民の皆さんの自主的な取り組みにより、全市民的な新春のイベントとして広がっていくことを期待する。

*12月定例会の一般質問の録画放送を見る場合
福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。



大田 祐介
水曜会

**第35回ふくやまマラソンの
取り組みは**

問 ①参加者に対するおもてなしは。

答 ②鞆の浦コースという風光明媚なコースを求めるスポーツツーリズムに対する今後の取り組みは。

答 ①竹ヶ端会場では豚汁の



連石 武則
水曜会

**学校規模・学校配置の
適正化計画の取り組みは**

問 対象地域での取り組み状況と4地域より出された要望事項は。

答 再編対象校の保護者の方々の意見交換の場を持ち、適正化計画の目的や教育効果など全体的な理解はできるといふ意見もある

サービス、鞆の浦コースの参加者には、ちゃんこ汁のサービスを予定。さらに、手作り手旗による沿道での応援やアウンサーによる鞆の浦でのゴール実況、地域の子どもたちや地元ダンスグループが出演するステージ、出店などさまざまな形でのおもてなしができるよう準備を進めている。また、宗茂、猛兄弟を招待し、イベント会場に参加していただくなど大会を盛り上げていきたいと考えている。

②本市の魅力を発信し、地域活性化を図る上で有効であると考えている。

中、再編後の学校生活への不安等さまざまな意見や思いが出された。また、これまでに、山野、広瀬内浦、服部の4学区から学校存続や過疎化対策、継続的な意見交換会等の実施などの要望が出ている。要望で出された意見や思いを真摯に受け止め、保護者との話し合いを重ねる中で説明を尽くした後地域説明会を開催し、学校、家庭地域が一丸となった学校づくりといった観点からも十分に話し合っ



生田 政代
公明党

ひきこもりの社会復帰支援は

問 本市の15歳から39歳までのひきこもりの推定人数は平成27年3月現在2333人ということだが、取り組みの状況は。

答 社会への第一歩を踏み出せるよう支援する青少年自立支援事業や、生活困窮者からの相談を受けける生活困窮者自立支援事業のほ



中安加代子
公明党

子育て支援の取り組みは

問 ①産前産後サポート事業の現状は。
②「福山版ネウボラ」事業への考えは。

答 ①家族等から十分な家事や育児の援助が受けられないことや地域のつながりの希薄化等により妊産婦の不安や負担が増えている

か、ひきこもり家族教室等を実施。

ワクチン行政の取り組みは

問 高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種の周知とB型肝炎ワクチンの予防接種への考えは。

答 高齢者肺炎球菌ワクチンは平成26年10月から定期予防接種となり対象者に郵送で個別通知している。B型肝炎の予防にはワクチンが極めて有効だが、母子感染以外でも感染の可能性もある。来年度中にも全ての乳児に予防接種できる見通しの国の動向を注視する。

ことから、今年度、出産後の母親への産前産後の支援に関するニーズ調査を実施し、現在分析している。今後、この結果をもとに支援事業を検討する。

また、広域的に事業実施できるように、備後圏域の市町とも連携を図る。

②現在実施している母子保健相談事業に加え、今後、産前産後のケア体制の整備を行うとともに、身近な地域で行う子育て支援事業と連携を図り、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援に取り組み。

※スポーツツーリズム：プロスポーツの観戦者やスポーツイベントの参加者と開催地周辺の観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などをめざす取り組み。
※ネウボラ：フィンランド語で「助言の場」を意味し、フィンランドの子育て支援制度や施設を指す。日本版では、妊娠から出産、育児の切れ目のない相談支援のシステムのこと。



塚本 裕三
公明党

びんご圏域ビジョン、市総合戦略における6次産業化の取り組みは

問 6次産業化の補助金や出資に関する制度は。

答 補助制度として、新商品開発や販路開拓、加工・流通・販売等の施設の整備等に対する国の6次産業化ネットワーク活動交付金や、小規模な農林漁業者の支援の

ための本市の6次産業化推進・設備整備等事業費補助金がある。

また、国や地元の金融機関等が出資する、県のひろしま農林漁業成長支援ファンドがあり、農産物の付加価値向上や販路拡大を図る事業に活用されている。

国の交付金やファンドの活用は国の「広島6次産業化サポートセンター」が申請受け付けの窓口となり、本市はセンター等と連携して情報提供を行うとともに、相談業務などの支援を行っている。



和田 芳明
公明党

18歳選挙権は

問 ①選挙権年齢を引き下げた目的と意義は。

②若者の政治離れの要因は。
③若者の政治参加意識を高め投票行動に結び付ける対策は。

答 ①18歳や19歳の若者は既に自らの考えを持ち、物事を十分に判断できる力があるとされ、年齢

を18歳以上とされた。この引き下げは若者の政治意識の向上や、将来の有権者である子どもたちの意識の醸成に寄与すると考える。

②国の報告では、他の世代に比べ政治的関心、投票義務感などが低いとされ、本市でもこうした若者の意識が低投票率の要因の一つではないかと考える。

③市内3大学の学園祭での選挙啓発などを行っており、若者に有権者としての自覚を促すことが重要と考える。小中学校や高等学校の出前講座などに積極的に取り組み若年層の意識を高めていきたい。



藤原 平
誠勇会

人事評価制度の導入と運用は

問 制度導入の経過と運用は。

答 平成26年の地方公務員法の改正で、人事評価の実施が義務付けられ、評価結果を任用、給与等の基礎として活用するとされたことを受け、平成28年の法施行に合わせ実施することとした。

を合わせて実施し、能力評価は職位や職種に応じて求められる役割や行動基準に対して評価を行い、業績評価は組織目標に沿って個々の職員が年度当初に設定した目標に対する達成度を踏まえて評価を行うものである。

年度当初に所属長と職員が面談を通して伸ばしたい能力や業務上の目標などについて共通認識をし所属長が継続的に指導、助言を行う中で個人の成長を高め、職員が組織目標に向けて取り組むことで組織力の向上を図りたいと考えている。



徳山 威雄
誠勇会

ごみ固形燃料工場の将来像は

問 ごみ固形燃料工場は平成30年度までの事業期間終了後も施設の延命化とごみの乾燥工程の効率化を図り、事業を継続すべきでは。

答 ごみ固形燃料工場はリサイクル発電事業の基幹施設であり、

現行のリサイクル発電事業は売電

単価の有利な固定価格買い取り制度が平成35年度まで適用されることから、延命化を検討している。

ごみ固形燃料工場のリサイクル率は、稼働以来40%を超える高い水準にあり、引き続き延命化、長寿命化を進め、効率的な施設運営に努める。

また、ごみの乾燥コストの削減には、可燃ごみに含まれる水分を各家庭でごみを出す前に水切りすることが重要なことから、今後も啓発に努める。



高木 武志
日本共産党

乳幼児医療費助成制度の拡充を

問 全国では所得制限をなくし対象年齢を中学卒業や高校卒業、さらには22歳までへと拡充している。県内では三原市が平成27年7月より中学卒業まで、府中市も平成28年度から中学3年生まで通院・入院ともに助成対象を拡充する。通院の助成対

象が就学前までの自治体は、近隣市町では本市のみで、極めて遅れている。中学卒業までの通院・入院無料化の実現を求める。

答 この制度は、これまでも県制度に上乘せをし、本市独自に助成対象年齢を拡大している。

子どもの医療費助成制度は、自治体独自で対象年齢を拡大するなど、住む地域によって格差が生じ望ましくない状況と考える。本来国が責任を持って制度を構築すべきで、全国一律の制度の創設を引き続き国に強く要望する。



村井 明美
日本共産党

保育料の引き下げと障がい児への保育士加配を

問 ①本市の保育料は全国的に見ても高い。保育料引き下げや多子軽減制度の拡充を求める。②本市は全国に先駆け、障がい児の保育に取り組んできた。保育士の加配などを行っているが不十分で、保育現場の実態を把握

し、必要な保育士配置を求める。

答 ①現在の保育サービスを持続的に提供するには、現行水準での保育料が必要。多子軽減制度は現在、国で所得制限を設け、第1子の年齢条件を廃止する案などが検討されており、動向を注視する。②国の障がい児保育推進事業が一般財源化された2003年度以降は、本市独自の施策として障がいのある児童を受け入れている私立保育所に助成を行っている。引き続き、現場実態の把握に努めながら、本事業を推進する。



川崎 卓志
市民連合

交通事故が多発する国道2号神島橋西詰め交差点の対策は

問 国道2号神島橋西詰め交差点における交通事故は、福山西警察署管内で最も多いが、抜本的な対策を。また、神島橋アンダー道路の交差点も事故が多いが改良の考えは。

答 当該交差点ではこれまでに警戒標識、大型反射板、カラー舗装、路面表示などの事故防止対策を実施してきた。現在、国土交通省が雨天時のスリップ防止や区画線等が見えやすくなるなどの効果が期待できる排水性舗装およびスプードの抑制を図る路面表示等の工事に取り掛かっており、この対策により効果が上がるものと考えている。

また、神島橋アンダー道路の交差点についても、安全性の向上に向けた工事を本年度中に実施する。



西本 章
市民連合

多文化共生センターの設立を検討しては

問 本市にも多くの外国籍市民が居住し、雇用、言葉、教育等の課題がある。多文化共生センターの設立を検討すべきでは。
答 本市では、経済・雇用相談窓口を設け対応しており、言葉の問題では、多言語での外国語版

ニューズレターなどの発行や、日本語教室なども実施している。

総合的な相談窓口については、来年度、国際化推進プランの改正時期を迎えることから、現在、市民意識調査の実施に向けて取り組んでいるところで、その結果や他



日本語教室

市の状況なども参考に、相談窓口の在り方について研究を行う。



答 入学後の児童の状況を分析・評価することで、問診が有効に機

問 就学時健診において何らかの問題を指摘された児童が、入学後どのような学校生活を送っているのかを関係者とともに検証すべきではないか。

必要では 就学時健診の結果検証が



藤田 仁志
無所属

問 社会構造等の変化により市政運営はこれまで以上に厳しくなると想定される。この難局を乗り切るためには、対話、決断、実行といった責任が果たせる首長が必要である。羽田市政の継続が最善と考えるがどうか。



須藤 猛
新政クラブ

羽田市政の継続は

能しているかどうかを検証し、的確な課題把握につなげていくことが重要であると考えている。個別の検証報告については、保護者や幼稚園、保育所の理解を進める中で、来年度中に行っていきたい。



託されたばらプロジェクト
100年
今までもこれからも
PASS THE ROSE FUKUYAMA
市制施行100周年記念事業のシンボルマーク

答 市民の皆さまから負託を受けている任期まで、職責を全うすることが私に課せられた使命である。市制施行100周年に係るさまざまな記念事業や取り組みをやり切ることや、今日の少子高齢化や人口減少を見据えたさまざまな取り組みを着実に進めていくことなどに全力を傾注していきたい。

平成26年度一般会計・特別会計決算を審査

第5回臨時会（11月9日に開催）に提案された平成26年度の一般会計と11の特別会計の歳入歳出決算認定議案12件を、一般・特別会計決算特別委員会（委員19人）を設置し、11月9日から13日まで審査しました。

9日と10日に帳簿等の書類審査、11日と12日に質疑を行い、各会計の予算が効果的に執行されているかなどを審査しました。13日には、それぞれの会計について討論を行い採決し、決算特別委員会として、それぞれの決算を認定することに決定しました。

なお、この結果は12月定例会の初日（12月1日）に委員長報告を行いました。



平成26年度 会計別決算状況

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
一般会計	1,730億8,865万5千円	1,685億8,946万円	44億9,919万5千円
都市開発事業特別会計	8億2,624万7千円	6億6,201万円	1億6,423万7千円
集落排水事業特別会計	3億6,668万3千円	3億6,532万4千円	135万9千円
国民健康保険特別会計	493億6,295万1千円	481億5,988万2千円	12億306万9千円
介護保険特別会計	368億5,091万9千円	364億3,079万7千円	4億2,012万2千円
後期高齢者医療特別会計	49億2,240万7千円	49億1,343万7千円	897万円
食肉センター特別会計	5,817万3千円	5,719万3千円	98万円
駐車場事業特別会計	6億4,023万5千円	2億5,284万円	3億8,739万5千円
商業施設特別会計	10億3,425万5千円	8億4,008万8千円	1億9,416万7千円
母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計	1億9,557万2千円	7,488万5千円	1億2,068万7千円
誠之奨学資金特別会計	8,443万2千円	388万4千円	8,054万8千円
財産区特別会計	5,223万9千円	445万1千円	4,778万8千円
特別会計小計	943億9,411万3千円	917億6,479万1千円	26億2,932万2千円
合計	2,674億8,276万8千円	2,603億5,425万1千円	71億2,851万7千円



和歌山市



高槻市

市議会だより編集委員会で 高槻・和歌山市議会を視察

市議会だより編集委員が10月26・27日の2日間で行政視察を実施しました。

視察先は、中核市議会議長会議会報コンクールで入賞された市など、その取り組みの中身に触れて、進化の糧となるよう研修を行いました。

本市議会基本条例のつとより、将来にわたる議会の近代化や活性化、開かれた議会、さらには市民に身近な議会の情報発信の効果を求める等を主眼に意見交換を行い、大きな成果を得ることができました。

今後は、この糧を十分に反映した取り組みにより、議会だよりの充実と発展に精進することを共に確認しました。

(委員長 神原孝巳)



委員会の活動(10月～12月)

10月から12月末までの委員会の主な活動状況は、次のとおりです。

◆常任委員会

	開催日	調査・審査項目		開催日	調査・審査項目
総務	10/28	・(仮称)福山市総合戦略 ・第2回福山ブランド認定品・登録活動の募集 など	文教 経済	11/20	・地域再生法に基づく地域再生計画の認定 ・里山里地再生・保全事業 ・第2次地産地消促進計画(素案)の策定 ・「ESD(持続発展教育)」の観点を持った「小中一貫教育」の推進 ・歌でつなぐ夢・未来プロジェクト～100周年から新たな次の100年に向かって～ など
	11/20	・市立大学における期日前投票所の設置など		12/11	・付託された議案(15件)の審査 ・一般廃棄物処理基本計画の策定
	12/9	・過疎地域自立促進計画を定めることなど			
	12/11	・付託された議案(9件)と請願(4件)の審査 ・びんご圏域ビジョンの進捗状況 など			
民生福祉	10/6	・2016年度保育所再整備に係る法人移管	建設 水道	11/20	・ため池耐震診断の結果に基づく対応方針 ・空家等対策の取組 ・中津原浄水場導水管バイパス布設工事請負契約締結 ・上下水道事業経営審議会の開催 ・産業廃棄物の大量保管事案 など
	11/20	・障がい者保健福祉総合計画(案) ・教育・保育施設及び地域型保育事業 ・高精度放射線治療装置による治療開始 ・臨時福祉給付金の支給 など		12/11	・付託された議案(7件)の審査 ・市有施設の杭工事に係る調査結果
	12/11	・付託された議案(2件)の審査 ・高齢者福祉関係施設の整備法人の選定など			

各委員会の詳しい内容は、議会ホームページの「会議録検索」からご覧いただけます。
なお、委員会記録の作成には日数を要しますので、ご了承ください。

—— 本会議・委員会を傍聴してみませんか！ ——

本会議や委員会は公開していますので、どなたでも傍聴することができます。
「3月定例会の開催予定」は次のとおりです。

3月定例会の開催予定

2/17 (水)	本会議 (市長総体説明など)	3/2 (水)	予算特別委員会
22 (月)	議会運営委員会	3 (木)	予算特別委員会
24 (水)	本会議 (代表質問)	4 (金)	予算特別委員会
25 (木)	本会議 (代表質問)	7 (月)	予算特別委員会
26 (金)	本会議 (代表質問)	8 (火)	予算特別委員会
29 (月)	本会議 (一般質問など)	11 (金)	議会運営委員会 本会議 (委員長報告など)
3/1 (火)	常任委員会 (総務、民生福祉、文教経済、建設水道)		

○本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。(ただし、3月11日の本会議は午後1時からの予定。)
○詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。☎084-928-1136

傍聴を希望される方は、会議の当日、次の場所で受け付けし、傍聴券の交付を受けてください。
なお、傍聴券は受け付け順に交付します。

○本会議 → 議会棟 5 階の傍聴受付
(傍聴席72席のほか車いす 4 台分のスペースがあります)

○委員会 → 議会棟 2 階の議会事務局庶務課
(傍聴席 6 ~ 9 席)

※本会議については、本庁舎 1 階ロビー、議会棟 5 階の傍聴受付ロビー及び各支所のテレビで、議会中継をご覧いただけます。



本会議場の傍聴席

市議会議員選挙の日程が決まりました！

4月3日(日)告示

市民の皆さまの思いを市政に反映させるための代表者を選ぶ大切な選挙です。

棄権することなく、大切な一票を有効に生かしてください。

仕事や旅行などにより、投票日当日に投票に行くことができない方は、期日前投票をすることができます。

4月10日(日)投票



明るい選挙のイメージキャラクター
「選挙のめいすいくん」

行財政改革特別委員会（8月4日～5日）

佐倉市：ファシリティマネジメントについて

さいたま市：公共施設マネジメント計画について

佐倉市は、平成19年よりファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、市所有の土地、建物などを有効活用し、無理、無駄のない財政運営を行ってきています。小中学校や消防署の建て替え耐震工事、減築設計、水道料金の見える化などで合理化を図っています。

さいたま市は、施設の老朽化、インフラ整備など公共施設の効果的・効率的な管理運営を進める公共施設マネジメント計画を策定しています。新規整備は原則行わず今の施設を有効活用する、今の経費の範囲でインフラの整備・維持・管理を行うなど、ハコモノ・インフラ三原則を目標に掲げ取り組んでいます。

（委員長 塚本裕三）



佐倉市

都市整備特別委員会（8月4日～5日）

糸魚川市：交通ネットワークビジョンについて

足立区：防災街区整備事業について

糸魚川市は、世界ジオパークに認定され、北陸新幹線の開業もあって観光に力を入れていきます。都市計画を見直し、建築や開発に規制や誘導を掛けながら主要幹線道の整備を行い、環境整備を進めています。

足立区は、道路に面さない建て替えるにも困難な住宅や行き止まりの路地など、防災上や環境面で課題のある老朽住宅が密集した市街地を、国の支援も受けながら町並みの整理を行っています。

いずれも住民の理解と協力で生活環境の改善に結びついている事業であり、今後のまちづくりに向けて大変参考になりました。

（委員長 千葉壮太郎）



糸魚川市

特別委員会の視察報告

競馬場跡地活用検討特別委員会（10月20日～21日）

足立区：ギャラクシティについて

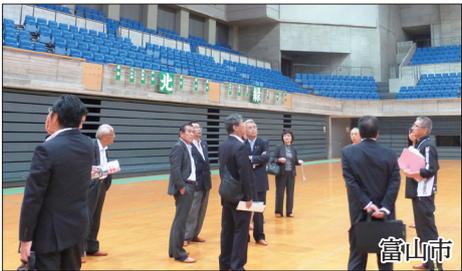
富山市：富山市総合体育館について

足立区のギャラクシティは、平成6年に事業費約130億円で作られました。子どもが遊びながら学べる複合体験型施設となっており、指定管理者制度で運営されています。年間の事業数は4千件を超え、約160万人が利用しており、教育効果を考えた遊具の設置など今後の参考にしました。

富山市総合体育館は、平成11年に約163億円の事業費で完成し、国際大会などの大規模イベントに加え、市民のための日常的なスポーツ活動にも対応できる施設と

なっており、本市が進める総合体育館建設に向けて、大変参考になりました。

（委員長 高橋輝幸）



富山市

編集後記

平成24年の改選後の定例会から一問一答方式を導入、多くの議員が一問一答方式を選択し、より活発な議論が交わされています。

同時に、議会だよりもページ数を増やし、市議会の活動をより深くお伝えできるようになりました。この4年間で、ロゴの刷新、レイアウトの変更、ホームページへの誘導などとともに、表紙写真も委員が撮影し、皆さまに親しみやすい議会だよりとなるよう、全委員一丸となり編集に取り組んできました。

今後も、皆さまに議会の活動をわかりやすくお伝えし、親しまれる「ふくやま市議会だより」になるよう委員全員で努めます。

（今川享治）



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp

